

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 平安女学院中学校高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒602-8013  
京都市上京区下立売通烏丸西入五丁目町 172-2

E-mail : \_\_\_\_\_

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 0 名 女子 452 名 合計 452 名  
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
  - 気候変動
- 生物多様性
  - エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

### (1) 1年間の主な活動内容について

#### 学習テーマ 「食と命と私の未来」「命の尊厳」

##### 中学1年生

- ・講義と農業実習(大根、サツマイモの収穫やバケツでの稲栽培を実施)を組み合わせ、「読む・聞く・話す」力と観察力、行動力を養うことを目指した。
- ・食についての各自の関心を年間で6回レポート提出し、その後、発表の機会で見聞の交流をするなどした。
- ・書く、読む、調べる、観察するなど、映像やパワーポイントを使用して授業の中でも生徒たちが「飽きない」、「意欲を維持させる」、変化のある内容展開を心がけた。

##### 高校1年生

- ・自死遺族や薬物乱用経験者などの外部講師も招き、命の尊厳を「死」を見つめる角度から見つめなおし、命の大切さ・「今をいかに生きるのか」を問う機会とした。

##### 高校3年生

- ・名店といわれる老舗料亭(平八茶屋)での3回の実習を通じて、伝統的な和食の成り立ちや奥深さを学ぶ。自然の素材を使った、丁寧に作るシンプルなだしを使ったメニューを毎回3品ずつ出され、天然と養殖の食べ比べや、科学調味料を一切使わずに風味を出す工夫などが教示された。
- ・「おいしい」を科学するをテーマに風味と五感との関わりについて学んだ。
- ・温度や食品形状の違いがおいしさ(甘味、塩味)にどう影響するのかを味覚実験を通して学習した。

#### 学習テーマ 「世界の子ども(ユネスコ活動紹介)」「キャリア教育」

##### 中学2年生

- ・「100人の村 activity」を通じて、世界の多様性を体験させることを目指した。
- ・子どもの人権を学習し、権利を奪われている子どもの実態の認識をねらいとした。(クレイグ・マララさんの実例など)
- ・ユネスコが設立された背景や現在の活動内容(ESD学習)を周知した。
- ・「ユネスコ寺子屋運動」を知り、リーフレットを作成し、「書き損じはがき回収運動」に取り組んだ。
- ・ESD読書を行い、後に読んだ書籍の発表、意見交流をした。

#### 学習テーマ 「世界遺産を知る」

##### 中学2年生

- ・世界遺産アカデミー講演会で人類共通の宝物の意義を知る。
- ・世界遺産の調べ学習をグループ課題にし、各自で内容や意義を調査し、まとめた。
- ・世界遺産新聞を作成し、発表、生徒同士で意見交流をした。

#### 学習テーマ 「キャリア教育」

##### 中学2年生

- ・夏休みにインターンシップ(美容院、飲食店や保育園などで職場体験活動)を実施し、自らの経験をレポートにまとめ、後に発表させた。

##### 中学3年生

- ・「なりたい自分」に向かって課題を見つけながら、「働く」意義に意識を向ける。
- ・適性検査やセルフワークの導入、様々な職業につくゲストも招いて、現場の生の声に触れる機会を作った。
- ・社会人としての基本的な要素になる力の重要性を学習した。  
(聞く力・話す力、自分から学ぼうとする姿勢、期限を守る)

## 学習テーマ 「地元地域(環境実態)に関心を向ける」「伝統文化を学ぶ」

### 中学1年生

- ・学校周辺の環境を観察場所を選んだ。(下立売門近辺から出水の小川・宗像神社、賀陽宮跡の周辺)
- ・被子植物、裸子植物、シダ植物、コケ植物の植生観察とスケッチ
- ・学習内容を身近な環境と結びつけ、系統的な知識の定着と活用を目指した。
- ・多種多様な植物の形態を観察することで、生物の多様性を学び生命を慈しむ大切さを理解することを目的とした。

### 中学2年生

- ・日本語と英語の京都ガイドブックを作成し、交流訪問の外国人生徒に配布した。

### 中学2年生～高校2年生

- ・茶道と華道の時間を持ち、伝統文化に触れる機会を持った。

## 学習テーマ 「共生する社会」「私たちの暮らしと世界のつながり」

### 高校2年生

- ・偏見や誤解がどのように作られるのか、病気・障害・戦争を人権問題として見つめ直し、問題点を探った。
- ・異文化理解を通して共に生きるために必要なものの見方や感じ方を考える。
- ・年度最後に平和と平等に共に生きる社会の一員としての考えを発表させた。
- ・世界中で起こっている格差問題について考える。
- ・グローバル化における諸問題、民族・宗教紛争、国際協力や援助について学び、自分なりの望ましいあり方を探った。
- ・特定非営利活動法人・国際社会貢献センターと連携し、海外駐在経験者の講義や中国人留学生との交流、朝鮮歌舞団による伝統音楽と舞踊鑑賞の場を持った。
- ・発展途上国の問題を調べて冊子を作成した。

### 高校3年生

- ・国内の時事問題に加え、国際政治、経済問題についての基本的な事柄を理解し、問題意識を持ち、問題解決には一人ひとりの考えや姿勢が大切であることを学習する場とした。
- ・政治・経済問題を取り上げた風刺劇を作成した。

## 東日本大震災被災地応援実行委員会 2015年度活動内容

- ・被災した「11日」に関連付け、毎月の活動のカギとした。
  - ①朝に校門前で11円募金を実施。通勤途中の一般の方からも協力があつた。
  - ②実行委員会を開催し、活動内容の企画を起こした。
  - ③たより「轍(わだち)」を発行。2015年2月で通算64号を数えた。募金を頂いた卒業生、地域の協力者にも郵送している。
- ・気仙沼の鹿折地区で栽培した向日葵の種を取寄せ、本校歌壇で育てる。(京都新聞にも掲載される)
- ・文化祭で活動内容を展示し、オリジナルグッズを販売する。
- ・10月：平安女学院大学で開催されたSEELフェアで募金活動を展開する。
- ・11月：府立植物園で「あすKyoフェスタ」に参加し、ミラークロックの販売や活動内容の紹介をする。
- ・12月：気仙沼の商店街、仮設住宅の人々へクリスマスプレゼントを送る。  
(プレゼントはマフラー、靴下、帽子、ダウンジャケット、文房具、実行委員会オリジナルCD、ぬいぐるみ、生徒の書いたカード)

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ✓ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ✓ 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）